

令和3年度 第4回北斗市子ども議会(一般質問)の提案事案に関する進捗(検討)状況 <令和4年3月現在>

1.質問者	石別小学校 野村 萌々花 議員
2.質問事項	「差別のない、みんなで支え合うまちづくりについて」
3.質問要旨	<p>○差別をなくすには、広い心を持ち、相手のことを考えることが大事だと思います。そのために、アイヌのことやコロナのことなど、経験者やそのことに詳しい方に話を聞く機会などがあるとよいと思いますが、北斗市では、そのようなことはできるのでしょうか。</p> <p>○差別のない、みんなで支え合うまちづくりのために、北斗市が行っていることについて教えていただきたいと思ます。</p>
4.答弁要旨	<p>○市では、これまでも、差別やいじめなどの相談を受け付ける「人権悩みごと相談」を開いてきましたし、人権意識の定着と向上を目的に、市内の小中学校や高校で人権の大切さを伝える「人権教室」という出前授業も行っていますので、是非活用いただければと思います。</p> <p>○ご質問のアイヌのことやコロナのことなどに詳しい方からお話を聞くことは大変素晴らしいことだと思いますので、機会があれば、そのような学びの場を設けていきたいと考えております。</p>
5.進捗(検討)等の状況	<p>○新型コロナウイルスは、いまだ収束の見通しが立っておらず、差別や偏見・誹謗中傷を防止するためには、正しい情報に基づく的確な注意喚起が必要であると考えております。市では、これまでも私の記者会見やホームページ、広報をはじめ、チラシの全戸配布や新聞広告、新聞折り込みなど、多くの手段を用いて情報発信に努めてまいりました。</p> <p>○感染者やその家族、医療関係者などへの、いわれのない偏見や差別、心ない誹謗中傷は断じてあってはなりません。今後も戦うべき相手は人ではなくウイルスであるということを訴えながら、皆さまと一丸となって、乗り越えていきたいと思ます。</p>

1.質問者	谷川小学校 佐藤 煌 大 議員
2.質問事項	「北斗市の防災について」
3.質問要旨	<p>○北斗市に住む人たちの笑顔と安全を守るため、三つのことを提案します。</p> <p>一つ目は、避難所の設備を充実させることです。その中で、避難所に備えておくべきことは、①布団・タオル、②水、③熱を使わない食べ物、④赤ちゃんが困らない物（ミルク・おむつ）、⑤簡易トイレが必要だと考えます。</p> <p>○二つ目は、避難用リュックの準備です。防災グッズが入ったリュックを北斗市の小・中学校、高校、幼稚園、保育園の全クラスに用意し、大きな施設やお店にも設置します。北斗市に引っ越してきた人には、防災リュックをプレゼントしたいです。</p> <p>○三つ目は、防災頭巾の用意です。教室の椅子に防災頭巾をつけておくと、災害のとき、子どもの頭や体を守ることができます。</p>
4.答弁要旨	<p>○避難所に備えておくものとして挙げていただいた5品目でございますが、これらはすべて避難所に必要なものであり、市でも布団の代わりに毛布といった代替品があるものの、すべて備蓄しているところでございます。なお、保存食は熱がなくても食べることができますが、移動可能な非常用発電機を備蓄するなど、熱が使える環境の整備も進めております。</p> <p>○避難用リュックも、避難をするうえで準備すべき大切な物品であると考えております。ただし、ご提案の内容を準備するには、多くのお金が必要になり、現実的ではありませんので、まずはご家庭において、最大の自助として、家庭内備蓄と持ち出すものの整理を行っていただきたいと思っております。</p> <p>○低学年から防災意識を高めるためにも、非常に良いアイデアだと思いますが、防災頭巾は、道南地域では、なじみが薄いものとなっております。その理由を考えると、道南地域が都市型ではないということが挙げられると思っております。北斗市では、都市型ではないため、このような危険は少なく、大きな地震が起きたら、まずは机の下で身を守り、揺れが収まってからグラウンドなど校舎から少し離れた場所に避難して、津波の有無の確認とともに、安全の確保を行っていただきたいと思っております。</p>
5.進捗(検討)等の状況	<p>○防災への取り組みは、学校だけでなく、家庭や地域と一体で行うことにより、大きな力になります。ぜひ、谷川小学校区の防災力の強化のため様々な発信をしていただきたいと思っておりますし、市としても、北斗市全体に波及するよう可能な限りサポートしてまいります。</p>

1.質問者	北斗高等支援学校 品川浩夢 議員
2.質問事項	「安全なまちづくりについて」
3.質問要旨	<p>○一つ目は、私が谷川小学校の近くの横断歩道を青信号で渡ろうとしたとき、赤信号で通過した車がきて、ぶつかりそうになったので、引き返しました。私の妹も通学の途中で、似たような経験をして危険な思いをしたので、登下校の時間帯にパトロールをお願いします。</p> <p>○二つ目は、信号の設置についてです。上磯中学校につながる新しい道路のセイコーマートの付近の交差点に信号がないので、自転車や歩行者は車の様子を見ながら、おそるおそる渡っていたり、少し離れた信号まで行ったりしている現状があります。ここに押しボタンの信号があれば、歩行者の安全も守られると思います。</p>
4.答弁要旨	<p>○谷川小学校付近の国道や、学校に入る市道などでの車両の速度超過や信号無視については、平成27年度に行われた通学路の交通安全対策を検討する会議でも地域から問題提起されており、地域の皆さんに通学路に立っていただくことや、函館中央署でも特に登校時間帯でのパトロールを当面強化する旨の話がございました。その後、このような声は挙がっておりませんが、今回の質問を受け、再度函館中央署にパトロールの強化を要請していきたいと考えております。</p> <p>○市役所通線の延伸に伴い、この道路が上磯中学校への通学路となることから、市でも、道路の工事段階から、信号機の設置主体である警察へ信号機の設置要望を行ってまいりました。警察側は開通後の交通事情を踏まえ検討するとの方針で、開通された後の状況を確認した結果、信号機を移設する方向となったため、市として警察側に対し、信号機移設を正式に文書で要望したところでございます。</p>
5.進捗(検討)等の状況	<p>○交通安全の問題は、旗の波運動などの街頭啓発や交通安全指導など、市や警察、地域、家庭、学校などが一丸となり、地道に取り組んでいかなければ進んでいきません。また、歩行者や自転車、ドライバーがそれぞれの立場で、常に交通安全を意識していかなければ、交通事故を防ぐことはできませんので、市といたしましては、引き続き、交通安全の推進に向けて関係各位と取り組んでまいります。</p>

1.質問者	大野中学校 佐藤 遥 希 議員
2.質問事項	「北斗市の今後の発展に向けた方策について」
3.質問要旨	<p>○北斗市運動公園には体育館やフットボール場、野球場や陸上競技場があり、施設が充実しています。本州からスポーツ合宿を誘致していらっしゃることは存じておりますが、これらの施設を活用した新たなスポーツイベントの開催についてのお考えはございますか。</p> <p>○令和3年度は残念ながら中止になってしまいましたが、北斗市では「グルメだよ全員集合」などのイベントを積極的に企画されていて、私たちも開催をととても楽しみにしていました。今後、北斗市を盛り上げることを考えた時、このような取組を含め、どのような取組に力を入れていくのかお考えをお聞かせください。</p>
4.答弁要旨	<p>○令和4年度からは、4年間をかけて運動公園のリニューアル工事を行うこととなっており、選手をはじめ幼児から高齢者までが気軽に楽しめ、健康づくりや子どもの体力づくりなど、スポーツに取り組みやすい環境がさらに充実する予定となっております。このように魅力ある施設を活かしてスポーツイベントを開催するという佐藤議員さんのご提案は大変魅力的なものであり、市としては、例えば、北海道新幹線の駅があるという利便性を活かし、東北のチームと道央圏のチームを中間地点である本市に集めて大会を開催したり、合宿で来たトップアスリートと市民が交流できるスポーツ教室の開催などを検討できないかと考えております。</p> <p>○本市の代表的なイベントとして、春は「北斗桜回廊」、夏は「北斗市夏祭り」、秋は「北斗紅葉回廊」、冬は新函館北斗駅前のイルミネーションやトラピスト修道院並木道のライトアップなどを行っており、1年を通して豊かで美しい自然環境を活かしたイベントを行ってきたところでございます。また、令和3年度からの新たなイベントとして、新型コロナウイルス感染症の影響で残念ながら開催できませんでしたが、北斗市をはじめとした道南の「食」をメインとした「グルメだよ！全員集合in北斗」を企画しましたし、7月には道南の地ビールを集めた「クラフトビアガーデン」、10月には「道南カレーフェス」と子どもたちが楽しく遊べる「ハロウィンイベント」、11月には全道のキッチンカーを集めたイベントを開催し、多くの方にお越しいただいたところでございます。</p>
5.進捗(検討)等の状況	○今後も、民間事業者や市民の皆さんと協力し、たくさんのアイデアを出し合い、気軽に訪れたいくなるような「食」をメインとした、多くのイベントを実施していきたいと考えております。

1.質問者	市渡小学校 藤谷 衛 議員
2.質問事項	「『北斗市笑顔プロジェクト』について」
3.質問要旨	<p>○市渡小学校で「笑顔プロジェクト」と題し、全校児童の笑顔の写真を撮影し、玄関前の一か所に飾る企画を実施したいと考えています。おたがいのマスクなしの顔とその名前を覚え、マスク越しでも笑顔で名前を呼び合えるようにするためです。</p> <p>○この活動をさらに北斗市全体に広め、北斗市の皆さんの顔写真を集め、集めた写真で北斗市の名所、例えば八郎沼やトラピスト修道院、しだれ桜などのフォトモザイクにし、色々なところに観光ポスターとして貼ってみてはどうかと考えます。</p>
4.答弁要旨	<p>○「笑顔プロジェクト」は大変素晴らしい取り組みであり、特に、マスクを着けていない「素顔」の写真を飾るというアイデアは、コミュニケーションを深める大きなきっかけになるものと思います。</p> <p>○フォトモザイクは、顔写真を提供するだけで、たくさんの市民が気軽に参加できること、また、完成した作品は、単なるポスターなどに比べて多くの人の目に触れ、感動を与えてくれることなどの利点があり、このフォトモザイクを観光ポスターとして活用することは、市民参加型の大変すばらしい取り組みであると思います。</p> <p>○現在、北斗市では、本市の魅力を全道、全国に発信し、多くの方々に北斗市を知ってもらい、さらには訪れてもらえるよう、シティプロモーションに取り組んでおりますが、こうした取り組みは多くの市民の皆さまの参加によって行われることが大変重要であります。</p>
5.進捗(検討)等の状況	<p>○多くの市民の笑顔を集めたフォトモザイクによって、本市の観光名所などのポスターを制作し、新函館北斗駅や北斗市観光交流センターなどに展示する「北斗市笑顔プロジェクト」は、来訪者へのおもてなしとともに、まち全体を明るく賑わいにあふれたものにしていく大変すばらしいアイデアであり、今後、北斗市観光協会が主体となった取り組みとして、ぜひ進めてまいりたいと考えており、まずは、令和4年4月からの北斗桜回廊で特設撮影ステージを設置し、笑顔写真を集める予定となっております。</p>

1.質問者	久根別小学校 三 浦 悠 翔 議員
2.質問事項	「北斗市に総合病院をつくる」
3.質問要旨	<p>○北斗市に総合病院があれば、いろいろと利点があると考えましたので、いくつかあげさせていただきます。</p> <p>一つ目は、もし、緊急性のある患者さんが北斗市で出た場合、早急に対処できるという点です。</p> <p>○二つ目は、市営バスや徒歩でも通院しやすくなるという点です。</p> <p>○その他、総合病院ができると人口が増え、市が活気づくという点などもあげられます。これらのことから、利点はかなりあると思いますが、北斗市に総合病院を建てる計画はないのでしょうか。</p>
4.答弁要旨	<p>○総合病院が市内にあれば、緊急時の早期対応や通院がしやすくなるといった市民生活の面、さらに雇用など経済面でも多くの利点があると思われませんが、総合病院を開設することは、全国的な医師不足や多額の費用を要するなど課題も多く、容易ではないのが現状でございます。</p> <p>○北斗市には総合病院こそありませんが、市民の皆さまにとって一番身近で、かかりつけ医となるクリニックや医院などの診療所が多数ありますし、緊急時や専門性の高い医療が必要な場合には、函館市を中心とした広域的な二次医療圏で対応する仕組みができあがっております。また、緊急時には、救急車で搬送に加え、ドクターヘリで医師、看護師が現場に急行する仕組みも構築されており、いつでも素早く適切な治療を受けられる医療体制となっております。</p>
5.進捗(検討)等の状況	<p>○市といたしましては、引き続き、地元の医師会などの関係機関と相談しながら、医療体制の充実を図るとともに、専門的な医療機関の誘致などにも努め、市民の皆さまが安心して医療を受けることができる体制を維持していきたいと考えております。</p>

1.質問者	上磯中学校 紺野 竣太郎 議員
2.質問事項	「新函館北斗駅周辺の活性化について」
3.質問要旨	<p>○一つ目は、新函館北斗駅の敷地や付近に子どもが遊べるアスレチックなどを取り入れた公園を作るという提案です。さらに、駅構内のお店も観光客向けだけでなく地元のファミリー向けの店舗があると、公園で遊んだ家族が食事をしたり買い物をしたりしやすいのではないかと考えます。</p> <p>○二つ目は、観光客向けだけでなく、地元の人が新函館北斗駅に足を運ぶイベントを増やし、周知することです。</p>
4.答弁要旨	<p>○新函館北斗駅周辺には「西側公園」や「憩い公園」のほか「ボールコート」や「スケートパーク」の4か所の公園が整備されておりますが、アスレチックなどを取り入れた公園は、駅周辺のみならず市内には整備されておられません。新駅周辺にこれ以上の公園を整備することはスペースなどの観点からも難しいと考えており、まずは今ある施設をたくさんの方に利用していただくためのPRなどを行い、活性化を図っていきたいと考えております。</p> <p>○ファミリー向けの店舗誘致につきましては、お土産屋さんなどの物販店に比べると飲食店が少ないことから、家族が集いやすい飲食店に出店していただくよう働きかけていくほか、現在出店している店舗へも家族層が楽しめるような品揃えをお願いし、皆さんが気軽に訪れやすい場所の提供を目指していきたいと考えております。</p> <p>○市では、観光協会や観光交流センター別館のテナント会などと協力し、これまで7月に道南の地ビールを集めた「クラフトビアガーデン」、10月には「カレーフェス」や子供たちが楽しく遊べる「ハロウィンイベント」を開催したほか、11月には全道からキッチンカーを集結させたイベントを開催し、多くの来訪者にお越しいただきました。また、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により残念ながら開催できませんでしたが、新たなイベントとして新函館北斗駅前の道路を歩行者天国にして北斗市をはじめとした道南の食を集めた「グルメだよ！全員集合in北斗」を毎年6月に定期開催する予定で、今後も「食」をメインとした多くのイベントを実施していこうと考えております。</p>
5.進捗(検討)等の状況	○今後も民間事業者の皆さんと連携を図りながら定期的な開催と訪れてみたくなるような内容の企画を検討してまいります。

1.質問者	茂辺地中学校 橋 場 唯 斗 議員
2.質問事項	「北斗市をもっと知ってもらうために」
3.質問要旨	<p>○多くの人に北斗市のホームページやInstagramの公式アカウントを知ってもらうために、北斗市のいろいろなレストランに山と海の幸を生かした共通の食材を使ってB級グルメを作ってもらい、そのコンテストを行ってはどうでしょうか。そして、それを公式ホームページとともにSNSなどで拡散するのはいかがでしょうか。</p> <p>○拡散した人には、北斗市の特産品と引き換えができるようにすると、コロナ禍が落ち着いた際に一度は訪れてみようかなと思っていただけるのではないのでしょうか。</p>
4.答弁要旨	<p>○ご提案のあったB級グルメの開発など、大きな可能性を秘めていると考えております。これまでも、地域の特産物を利用した料理コンテストや地元野菜をつかった漬物コンテストなどが開催されているほか、最近では、令和2年7月に、JA新はこだて大野基幹支店の企画・協力で、市内の飲食店とトマト生産農家が、市特産のトマトを使ったオリジナルメニュー「北斗市すりおろしトマト冷やし麺」を開発し、市民に応援してもらい、食文化として定着できるよう継続してPRに努めているなど、いろいろな分野の事業者が協力して、それぞれの技術やノウハウを活用した商品開発や、地元農水産物のPRに取り組んでいるところでございます。</p>
5.進捗(検討)等の状況	<p>○今後は、令和4年度に、道南食の祭典として開催予定であります「グルメだよ！全員集合in北斗」において、橋場議員さんが提案された「市の特産品を活かしたB級グルメをつくり、コンテストを行う」というアイデアを拝借し、豊富な食材を活かした食に関するイベントの拡大や取り組みについて、多様な企画を検討してまいります。</p>

1.質問者	上磯高等学校 金 札 涼 汰 議員
2.質問事項	「北斗市夏まつりについて」
3.質問要旨	<p>○夏まつりが行われるエイドは、浜分や大野などに住む人にとってアクセスしやすい立地とは言えません。そこで、北斗市の施設を利用しながら、1年毎に場所を替えて開催するのはどうでしょうか。</p> <p>○夏まつりで北斗市の歴史・文化・自然などが盛り込まれた「北斗市ふるさとかるた」のかるた大会を行うのはどうでしょうか。</p>
4.答弁要旨	<p>○歴史と伝統があるお祭りや、数千人のお客様が入場できるスペースのほか山車行列に伴う交通規制や花火大会の場所の確保などが必要であり、安全面や管理面を考慮すると、現在の上磯駅前商店街をメイン会場とした開催が最適であると考えております。また、夏祭りだけではありませんが特定の場所で開催することに価値や意味があることも多くあり、これらのごことに配慮する必要もあると考えております。</p> <p>○ふるさとかるたは、北斗市に誇りや愛着を持っていただくことを目的に、平成27年度に作成したもので、現在もその普及促進のため「北斗市ふるさとかるた展」や「ふるさとかるた大会」を開催しています。夏祭りでのかるた大会の実施は、主催者である北斗市夏祭り実行委員会の判断に委ねられますが、郷土愛を育む新たなきっかけの場として、例えば学校祭などでの取り組みが考えられるのではないかと感じております。</p>
5.進捗(検討)等の状況	○金札議員さんのご提案は、自分のまちを最大限に知ることによって新たな魅力が掘り起こされ、末永く住み続けたいと思う気持ちが湧き起こる可能性を秘めたご提案であると思っておりますので、これからの新たなまちづくりの手法として参考とさせていただきますと考えております。

1.質問者	萩野小学校 波 千風音 議員
2.質問事項	「町内会を通じて、つながり合う町づくり」
3.質問要旨	<p>○町内会の取組を、ポスターにして、コンビニやスーパーなどに貼ってもらい、活動のよさや楽しさを知ってもらってはどうか。</p> <p>○市民課で発行している、町内会をすすめるパンフレットをマンガのようにフキダシを作るなどして、見やすくし、内容も簡単にしてはどうか。</p> <p>○小学6年生の授業（総合や社会科）で、町内会について、出前授業を企画し、「町内会」というものを知ってもらってはどうか。</p>
4.答弁要旨	<p>○町内会の取組をポスターにして、コンビニやスーパーなどに貼ってもらい活動のよさや楽しさを知ってもらうことは大変素晴らしい案であり、今後、学校でポスターを作成していくとお聞きしていますので、実現すれば住民の皆さんが町内会に参加するきっかけになると思います。</p> <p>○二つ目の市で発行している町内会をすすめるパンフレットに、マンガのようなフキダシを作るなどして、見やすくし、内容も簡単にして関心を持ってもらうことも住民の皆さんが喜んで見てくれる案だと思いますし、三つ目の小学6年生の授業で、出前授業を企画し、「町内会」を知ってもらう案もたいへん素晴らしい工夫でございますので、是非、職員を派遣させていただきたいと思います。</p>
5.進捗(検討)等の状況	○市といたしましても引き続き、町内会を取り巻く環境の変化に対応しながら、加入者を増やす工夫を行ってまいりますので、今後も新しいアイデアがあれば是非ご提案いただきたいと思います。